

# 経営体育成基盤整備事業

ほくじょうなんぶ

北城南部地区（白馬村）

【負担割合 国55% 県27.5% 市町村5% 地元12.5%】

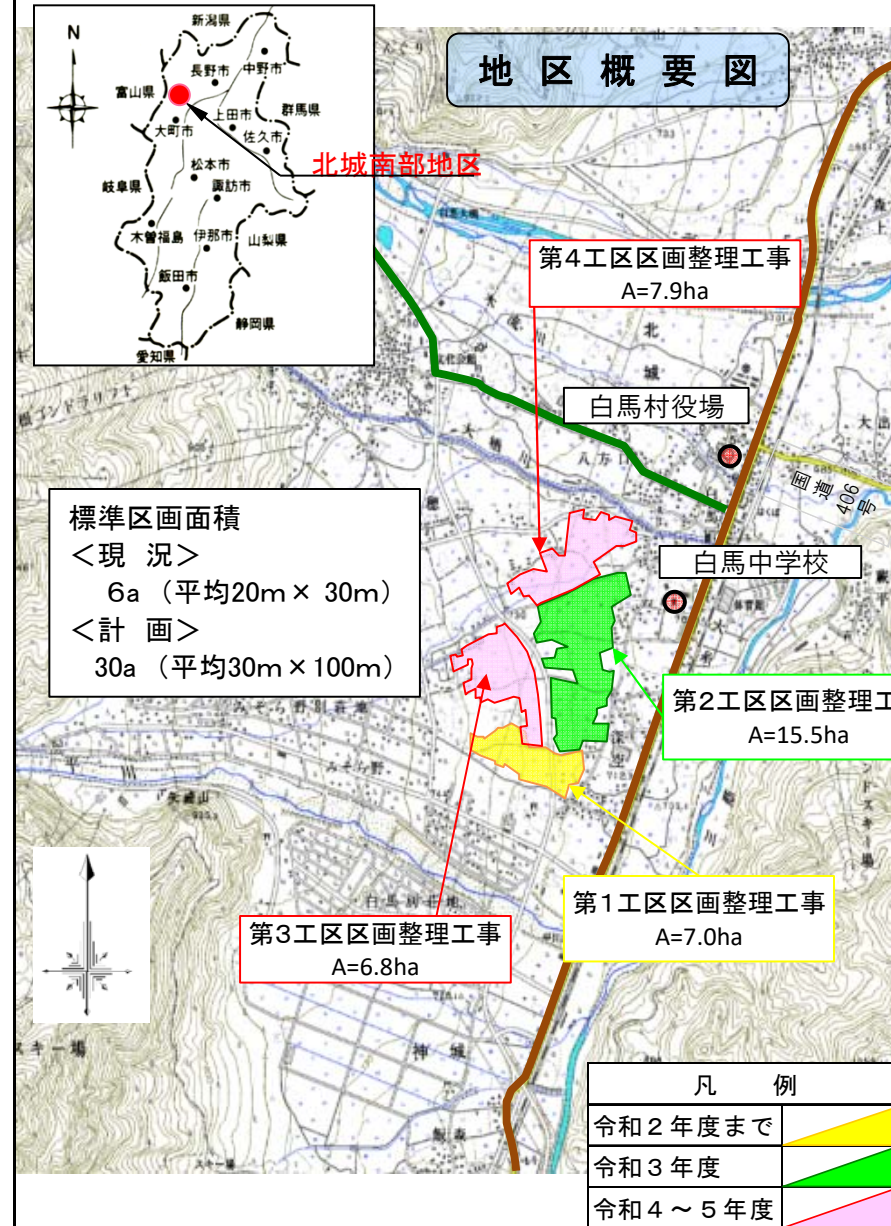
課名：農地整備課

全体計画		前年度までの実績 ( )は前年度内数		R5年度計画		R5年度以降 残事業費	説明
事業内容	工期	事業費	事業費	事業内容	事業費 予算 債務		
受益面積 A=40.8ha ほ場整備 A=40.8ha	H30 ~ R7	11億4,200万円	7億1,609万円 (3億3,378万円)	■区画整理工 <施工中> 第3工区 A=6.8ha 第4工区 A=7.9ha  ■付帯工 1式 (道路工等) ■換地業務 1式	R3,4繰越 1億9,391万円 R4 補正 4,000万円 R5 当初 1億4,200万円 計 3億7,591万円	5,000万円	本地区は一級河川松川の右岸に位置し、水稻を中心とした水田地帯である。ほ場は未整備のため、区画が狭小かつ不整形であり、ほ場への進入路や農道も整備されておらず、大型農業機械の導入に支障をきたしている。 このため、ほ場の区画整理を行い、土地利用型農業への転換を進めるとともに、耕作放棄地の解消、担い手への農地集積・集約を図り、力強い農業と景観にマッチしたほ場整備を目指す。

## 位置図



## 地区概要図



**1工区** **3工区**

**2-1工区** **2-2工区** **4工区**

田 (白) 畑 (黄)

高収益作物導入に向けた基盤整備

北城南部地区では、当初計画と新たに転換する分を合わせた約4haを畑地として整備し、高収益作物の作付けを行う

**<畑地の整備仕様>**  
 ①表土は25cm ②傾斜を付ける(0.5~1.0%)  
 ③畦畔はつけない ④明渠を設置する

**水田から畑に転換するほ場 A=2.7ha**

**基盤整備事業の実績**  
 荒廃農地を含めた農地の区画整理、農道・用排水路の整備

**担い手への農地利用集積**  
 担い手の意向を踏まえたほ場の大区画化、汎用化等の基盤整備により、農地を集積・集約化

	担い手経営面積	利用集積率
<現況>	29.0 ha	69.0%
<事業完了後>	36.6 ha	89.7%

**中心経営体農地集積促進事業(促進費)**  
 中心経営体に85%以上の集積及び集積面積の80%以上を集約化  
 助成割合8.5% + 集約化加算4.0% = 12.5%  
 ⇒地元負担を軽減

**基盤整備+新排水対策**  
**<カットブレーカー>**  
 全農による講習会

**<基盤整備における課題>**  
 ・大型重機による施工により基盤が締まり排水性が低下

**【施工の原理】**  
 ・50cm深さまで透水性改善  
 ・全ての土壌に対応  
 ・多少の石・礫に対応